令和５年度 第４回町民ワークショップ

テーマ「これまでのＷＳでの検討・意見を全体でふりかえり、計画素案作成にむけて、主な機能の方向性等を確認すること」

■日時・場所

令和５年１２月１８日（月）１８：３０～２０：３０　ＣＯＢＡＣＯ～コバコ～

■参加者

8名

■内容

計画素案作成にむけ、これまで出た意見や検討を全体でふりかえり、Ｅ案の考え方の整理と主な機能の方向性について全体で確認した。

第３回ＷＳ以降の活動の様子や集まった意見を共有し、まちあるきでの参加者の意見、あとちであそぼうの参加者（子どもや保護者など）の意見、県立会津西陵高校生のヒアリングの内容、保育園児の跡地でのあそび方など、様々な意見を全体で確認した。「どうしたら、多様な世代に愛されつづける地域の場になれるか」といった意見交換が行われた

■スケジュール

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 実施内容 |
| 18：30～ | ○開会、あいさつ |
|  | ○本日の進め方について |
| 18：35～19：05 | 〇第３回ＷＳ以降の活動内容と主な意見の交換 |
| 19：05～19：15 | 〇Ｅ案の考え方の整理と主な機能の方向性について |
| 19：15～19：20 | 休憩 |
| 19：20～20：10 | ○主な機能の方向性について |
| 20：10～20：30 | ○次回に向けて |
| 20：30 | 〇閉会 |

■主な意見

●跡地の暫定利用の状況

・幼稚園児の外遊びで跡地を利用（若松よりバスで来る）。走ったり、木の実や葉っぱを拾ったりして遊んだ。広い場所で思いっきり遊ぶことができ、子どもたちもまた行きたいと言っている。

・学童の子どもたちにも積極的に跡地を利用してもらっている。

●駐車場について

・駐車場の検証等、実証的に確認していくのは説得力がある。

・せと市の際の駐車場については、案内誘導に課題があったが、うまく連携して周辺駐車場に流すことができれば、対応可能と思われた。

・駐車場から会場までどのルートを歩くかも重要ではないか。本郷庁舎駐車場～跡地（せと市会場）におすすめの素敵な小道があるのでこちらを案内した方がよい。

・（町）広場の日常使いを大前提に、イベント時には周辺の町有地を一体的に利用しながら駐車場を確保していければと考えている。日常時は別の使い方をするなどフレキシブルに活用していきたい。

・（町）12/3イベント時は、観光駐車場と町有地合わせて70-80台の駐車場を確保し、ピーク時は本郷庁舎駐車場も10台程度利用した。中規模程度のイベントであれば対応可能と考えられる。

●E案への意見

・園路や歩道に消費カロリーを掲示したら良い。また、かけっこできるような直線があると良い。

・昨年のアンケート結果の上位１～5位の遊具や施設等をぜひ盛り込んでほしい。

・焼き物の町なので、子どもたちも参加して制作する陶板の壁等を設置してはどうか。

・若者に来てもらうために、SNSで「映える」ポイントをいくつか作ってはどうか。

・高齢者の健康器具を置いてほしい。

・防災の要素はどれくらい入ってくるのか。

・建物は北がよい（遊び場に近いため、中高生のボール遊びの場を南西に確保するため）。

・この中高生のボール遊びの場は、可動式でイベント時は駐車場として利用できるなどの工夫ができると良い。

・歩道と園路を一体化しではどうか。

・じゃぶじゃぶ池を使わない時はどうするのか。川の流れをどういかすか。

・南東側にも２つめの小山をおいてはどうか（ツリーハウスとは別の目的の山があると良いため。また景観的な効果から。）。

・自分の意見に自信がないが、皆で先進事例を視察すれば、合意が生まれるのではないか。

・（町）今後、素人には判断できない設計・整備に関する専門的な部分については、専門家の提案を取り入れ、町民にも情報共有し一緒に検討しながら詰めていきたい。そのためにも、設計に必要となるゾーニング等を実施計画に盛り込み、しっかりまとめたい。

・外周を歩道として車道の横に作ったのは、よく考えたなと思う。

・園路は、せと市で出店できるよう考慮した広さになっていると聞き、なるほどと思った。跡地全体で100店舗くらいは出店できるのではないか。

・複数の小山は現在の案の北西にまとめれば、ひとつのシンボル的なものになるのではないか。

・11/19の本郷体育館での実証実験で、建物のスペースが案外大きいことに驚いたが、夏場のヒートシェルター等含め、今後のことを考えると一定程度の広さは必要である。

・中高生をどうやって呼ぶか。ゲームアプリに対応できるような東屋が点々とあったら良いのではないか。

・(町) 高校生へのヒアリングでは、本当は跡地のようなところでキャッチボールをしたり集まって遊びたいとのことで、大人の想像とは違っていた。また、禁止事項が多く遊びにくく敬遠してしまうとの意見もあった。

・小山の斜面を活かした遊び場があると面白いのではないか。また、冬でも遊んでもらえるようにしたい。

・建物を2階建てにして、屋上でキャッチボールやフットサルができるようにすれば、管理施設と一体化できる。また、高さがあると見渡せるし、スケート等色々活用できる。

・（町）土管のトンネル、ターザンロープ、高齢者が運動する遊具の話については、本郷地域にある公園に今もあるので、せっかく作るのであれば、同じようなものを置くのではなく特異性のあるものを置いた方良いのではないか。

・（町）樹木について、風で落ち葉が公園以外の近隣の所にいってしまうことが心配事項としてあることから、近隣住民の方からも意見を聞く必要がある。

・既存の公園があまり利用されていないことについては、認知度の問題もあるが、何故人気がないかの分析をし、跡地の計画に活かしていく必要がある。

・利用者の視点を重視してほしい。メインターゲットは子どもと子育て世代と思うが、高齢者等その他の世代の住民目線からのチェックも必要。

●管理運営関連

・桜のオーナー制度等。何年後かにまた来てくれるのではないか。

・公園のような場所にすることについては、町内でおおよそコンセンサスが取れたのではないかと思うので、次は運営についてどうするかが課題。

・常駐の人がいた方がよいが、赤字を垂れ流さないよう、税金を使うにしても部分的にペイする方法等入れていく必要がある。

・きとんとした公園を整備し、できる限り駐車場を確保するなど、外から来た人の遊びやすさも必要。休日に親と子供で来る人にもリピーターになってもらい、自然発生的に自販機やカフェなどができていくのが理想。

・跡地はあれだけの広さがあるが、見える範囲の中に子どもの遊具等を設置することになるのかと思う。責任を持って見守る必要がある、ということになってしまうかどうかは検討のポイントになる。

・良い建物を作ったのはいいが、どう運営していくのかが課題。あまり大きすぎる建物も問題だが、せっかくなので一体的に考えて、うまくバランスを取ってほしい。

・国交省の子どもむけ公園整備の支援制度も活用できるかもしれない。財源を工夫して子どものために作ってほしい。

・クラウドファンディングも選択肢のひとつになるのでは。

・整備全体の予算化まで考えなくてもいいのか。年次計画でも良いのか。

・(町) 来年以降、設計ができてくれば費用が出てくる。大きな面積をまとめて整備するのではなく、部分的な整備の場合もあるので、年次計画を示した上で、しっかり進めていく。

・子どもの事故がないように、防犯、夜間照明など、安全管理を今後つめていく必要がある。

・資料中の採算性と出てくるが、そうした概念は必要なのか。

・(町)持続可能な場所としていくためには、皆さんの要望や思いを詰め込んで、作って終わりではなく、使ってもらうために、維持管理、運営等今後につなげていく視点が必要であり、お金のことも考えながら、設計・整備に向かっていく必要がある。

・管理については、管理運営主体をどうするか、利用者の負担についてどうするか等、きちんと詰めていく必要がある。

・運営事例の公園施設のみとり図があると良い。

　